

2020年2月28日

武蔵村山市教育委員会教育長
池谷 光二 様

日本共産党武蔵村山市議団
内野 直樹
靱山 敏夫
渡邊 一雄

新型コロナウイルス感染症対策についての緊急要望

日頃より、市内の子どもと教育のためにご尽力されていることに敬意を表します。

さて、政府は2月27日、コロナウイルス感染症対策として3月2日から全国の小中学校、高校、特別支援学校の臨時休業を要請しました。

突然の発表に保護者などから「あまりに急で対応できない」「もう少し時間がほしい」「職場を休めない」「預けるところがない」といった不安や戸惑いが広がっています。市教委も文科省などから詳細が知らされていない状況で対応が迫られており、学校現場も含めて混乱を来していることと思います。

子どもの命と健康を守ることは最重要課題であること、これ以上感染を拡大させない取り組みが必要であることは疑う余地はありません。

しかし、3月2日から臨時休業を行った場合、感染予防の効果よりも、学校教育や家庭、保護者などに与える悪影響の方が大きくなることも予想されます。

そこで、武蔵村山市教委が子どもの命と健康を守る立場でウイルス対策を進めつつも、国からの要請をそのまま受けるのではなく、市民の実情などに配慮した対策を講じることを緊急に要望します。

記

1. 市内の子どもや保護者の状況、学校現場の意向を踏まえて方針を決めること。
2. 臨時休業する場合、きちんとした準備期間を設けること。
3. 休業期間中でもテストや行事などが必要な場合は、柔軟な対応を認めること。
4. 保護者の健康状態や就労状況などにより、子どもが家で過ごすことが困難な場合は、学校施設などで過ごすことができるような対応を認めること。
5. 学童クラブなどを朝から開設する場合、必要な人員や予算措置を取ること。
6. 臨時的任用職員や時間講師については、休校期間中も給与を保証するよう都教委に要望すること。

以上